第 60 回美術史学会全国大会プログラム

5 月 25 日（金）九州大学箱崎キャンパス（9:30 受付開始）

研究発表（10:00〜12：00，会場：九州大学 50 周年記念講堂）

10:00〜10:40　禅林寺所蔵山越阿弥陀図について　高間由香里（広島大学）
10:40〜11:20　セザンヌと蒸気鉄道　秋丸知貴（京都造形芸術大学）
11:20〜12:00　台湾の「日本画家」―陳進《サンティモン社の女》をめぐって―　ラワンチャイクン寿子（福岡アジア美術館）

美術史学会論文賞表彰式（13:15〜13:30，会場：九州大学 50 周年記念講堂）

招待発表（13:30〜16:45，会場：九州大学 50 周年記念講堂）

今大会の招待発表はお二方にお願いしておりますが、ミニ・シンポジウム的なものとなるよう、それぞれのご発表についてお二人のコメンテーターを予定しています。なお午前中の 3 本の研究発表も、招待発表の内容に関わるものを集めさせていただきました。

13:30〜15:00　彼岸と表象―仏教美術の機能についての基礎的考察―　長岡龍作（東北大学）
（休憩 15 分）
15:15〜16:45　アジアのモダニズムの一側面―「仁丹」広告がつたえること―　田中淳（東京文化財研究所）

総会（17:00〜18:30，会場：九州大学 50 周年記念講堂）

---

5 月 26 日（土）九州国立博物館，筑紫女学園大学（9:30 両会場とも受付開始）

研究発表（午前）

第一分科会（10:00〜12:00，会場：九州国立博物館ミュージアムホール）

10:00〜10:40　関保之助と明治 41 年の遊就館整理事業　村上敬（静岡県立美術館）
10:40〜11:20　児島善三郎と日本的油絵―《鏡》を中心に―　林田龍太（九州大学）
11:20〜12:00　第２次世界大戦後〜現代・琉球紅型における画家の表現と系譜―末吉安久から名渡山愛擴へ―
兒玉絵里子（海洋博覧会記念公園管理財団）

第二分科会（10:00〜12:00，会場：筑紫女学園大学スクゥーヴァティーホール）

10:00〜10:40　根津美術館所蔵（金剛輪寺伝来）金剛界八十一尊曼荼羅について　丹羽温子（広島大学）
10:40〜11:20　金色不動明王画像に関する一考察　見田隆鑑（名古屋大学）
11:20〜12:00　東京国立博物館蔵普賢菩薩画像と法華懺法　吉村稔子（神田外語大学）

研究発表（午後）

第一分科会（13:15〜17:35，会場：九州国立博物館ミュージアムホール）

13:15〜13:55　半開の扉―ヴィア・ラティーナ・カタコンベ墓室 F 壁画―　宮坂朋（弘前大学）
13:55〜14:35　ビザンティン聖堂装飾プログラムにおける復活と皇帝イメージ　櫻井夕里子（早稲田大学）
14:35〜15:15　「イーゼンハイム祭壇画」《天使の合奏》主題解釈に関する一考察　茅根紀子（早稲田大学）
（休憩 20 分）
15:35〜16:15　パオロ・ウッチェロの《聖餅の奇跡》第 4 場面について　坂本篤史（神戸大学）
16:15〜16:55　ベルニーニの《バルダッキーノ》に関する一考察―バルベリーニのミツバチと台座の小モチーフ―
佐藤仁（成城大学）
16:55〜17:35　ファシズム期イタリアにおける「第二未来派」―「航空絵画」を中心に―　太田岳人（千葉大学）

第二分科会（13:15〜17:35，会場：筑紫女学園大学スクゥーヴァティーホール）

13:15〜13:55　「はね馬」と随身　金子岳史（大阪大学）
13:55〜14:35　大英博物館所蔵不空羂索観音二神将像試論―図像と制作背景―　古川攝一（神戸大学）
14:35〜15:15　初期武家文化の色彩観―『蒙古襲来絵巻』に描かれた武装表現を中心に―　佐藤佳代（九州産業大学）

（休憩 20 分）

15:35〜16:15　桃山時代の小袖文様における文芸性について―練緯地片身替四季草花文様縫箔（シカゴ美術館蔵）から―
山内麻衣子（関西学院大学）

16:15〜16:55　狩野光信様式と源氏絵―甲子園学院所蔵源氏物語絵巻を中心に―　三宅秀和（学習院大学）

16:55〜17:35　〈富士越龍図〉再考―聖徳太子伝承における「天翔ける黒駒」との関係―　大塚絢子（学習院女子大学）

九州国立博物館文化交流展（平常展）見学（17:35〜18:30，九州国立博物館 4 階）

懇親会（18：30〜20：00，会場：九州国立博物館エントランスホール）

---

5 月 27 日（日）九州国立博物館，筑紫女学園大学（9:30 両会場とも受付開始）

研究発表(午前)

第一分科会（10:00〜12:00，会場：九州国立博物館ミュージアムホール）

10:00〜10:40　法隆寺西円堂薬師如来坐像に納入された鏡　植松勇介（国学院大学）

10:40〜11:20　東大寺法華堂天平期諸像に関する研究　濱田恒志（東北大学）

11:20〜12:00　定慶様菩薩像の再検討　山口隆介（大阪大学）

第二分科会（10:00〜12:00，会場：筑紫女学園大学スクゥーヴァティーホール）

10:00〜10:40　岩佐又兵衛における古絵巻の利用について　飯島沙耶子（東京大学）

10:40〜11:20　『堀江物語絵巻』諸本の位置―又兵衛工房における粉本使用とその意義―　筒井忠仁（京都大学）

11:20〜12:00　英一蝶「布晒舞図」の舞手をめぐって―そのモデルと典拠としての宗達筆雷神図―　池田芙美（東京大学）

研究発表（午後）

第一分科会（13:15〜17:35，会場：九州国立博物館ミュージアムホール）

13:15〜13:55　ウィリアム・ホガースの銅版画―その造形における諧謔性と諷刺性について―　大庭朋子（東京芸術大学）

13:55〜14:35　ウィリアム・ブレイクの『無垢の歌』 ―その同時代性をめぐって―　安永幸史（神戸大学）

14:35〜15:15　ギュスターヴ・クールベ《追いつめられた雄鹿》(1867 年、ブザンソン美術・考古学博物館蔵)に関する一考察
金澤秀美（学習院大学）

（休憩 20 分）

15:35〜16:15　オスカー・シュレンマーの「壁画」概念　青木加苗（京都市立芸術大学）

16:15〜16:55　パウル・クレーの 1918 年の文字絵《かつて夜の灰色から浮かび上がった　色彩文字》
―その制作状況を巡る考察―　野田由美意（成城大学）

16:55〜17:35　1940 年代初頭のニューヨークとマックス・エルンスト―《Vox Angelica》（1943 年）をめぐって―
石井祐子（九州大学）

第二分科会（13:15〜17:35，会場：筑紫女学園大学スクゥーヴァティーホール)

13:15〜13:55　桑山玉洲の真景論再考―「熊野奇勝図巻」を中心に―　大橋美織（学習院大学）

13:55〜14:35　沖一峨における画風の多様性について―人的交流との関連から―　山下真由美（鳥取県立博物館）

14:35〜15:15　司馬江漢作《天球図》の図像源泉について　橋本寛子（神戸大学）

（休憩 20 分）

15:35〜16:15　「舞い鳳凰」の図像学―吉原遊郭文化における象徴的意味を読み取る―　田口文哉（日本大学）

16:15〜16:55　上方「似顔画師」北洲の北斎学習について―相貌から身体へ―　中野志保（同志社大学）

16:55〜17:35　小林清親の広重受容　菅原真弓（京都造形芸術大学）

九州国立博物館の文化交流展（平常展）無料見学について

5 月 26、27 日の両日、大会参加の皆様には、九州国立博物館 4 階の文化交流展（平常展）を無料にてご見学いただけます。26 日の研究発表終了後より懇親会開始までの間（17:35〜18:30）に見学時間を取っておりますが、その他の時間にも随時ご見学ください。展示会場入口にて名札を確認させていただきます。